



発行日：平成 26 年 9 月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第 21 回川部会WGを開催しました！

家下川ー承水溝ー長池（ひょうたん池）の状況や関連する各施設管理者の考え方を確認しながら、意見交換を行ない、段差解消に向けた課題と方向性について検討しました。

日時：平成 26 年 9 月 26 日（金）15:00～17:00
会議場所：豊田市職員会館 3F 第 1 部室
参加者：19 名（事務局含む）



◆WGで決まったこと

- 承水溝ー長池をつなぐゲートの位置づけや、承水溝周辺の所有者と管理者について、関係者により確認いただくこととする。
- 承水溝・長池・宗貞川付近の水位の連動性、長池の底の状況を把握することが重要であり、鷺見研究室で調査いただくこととする。
- 承水溝ー長池の段差を解消する方向性が望ましく、参考として水深20cmの確保を目指すこととした。
- 費用の制限がある中で承水溝を浚渫する場合に、承水溝全体に渡って部分的に深い場所を作る方法を提案する。
- 活動団体アンケートの内容は事務局に一任し、事務局提案の対象リストからもう少し対象を広げて実施することとする。

◆主な意見交換内容

（●意見 ▶回答）

1. 段差解消の課題・方向性について

- 上郷排水機場の改修について事業採択を受け、今年度から来年度にかけて詳細な検討を実施していくこととしている。（松澤）
- 家下川下流は管理者が細かく分かれている。それぞれどこの管理になっているか。（内田）
 - ▶ 家下川は、愛知県豊田加茂建設事務所である。（事務局）
 - ▶ 承水溝と上郷排水機場については、財産としては豊田市農地整備課、管理を土地改良区に委託していると聞いている。（松澤）
 - ▶ 長池については、柳ヶ瀬公園を管理している豊田市公園課と調整し、河川課の水面管理の中で対応することとした。（鈴木）
- 公園課に確認したが、整備時期が古く管理している図面はないということを確認した。これからの検討によって、どういう方向性があるか一緒に考えていきたいと思っている。（鈴木）
- 豊田市と岡崎市の市境もこの付近にあるようだが、承水溝と長池をつなぐゲートの管理者はだれか。ゲート整備するとき問題になりそうである。（光岡）
 - ▶ ゲートの位置づけや管理者について、持ち帰って確認したい。（鈴木）
- 調査時点では、承水溝側のブロックが置いてあるところで水位差はあるが、家下川入口付近はほぼレベルであった。（鷺見）
 - ▶ 家下川と承水溝の水位差が、平常時に 20 cm 程度であるとすれば、定期的に降る雨があれば、魚は移動できると思う。そうすると、宗貞川樋門の敷高を下げるができるか。例えば、ある程度敷高を下げておいて、状況に合わせて、角落としのようなもので水位調整できるとよいのではないか。（阿部）
 - ▶ ゲートの入口は、水の流れと平行になる区間をつくるなど、もう少し工夫できるとよい。（阿部）
- 樋門敷高が下がると、それと連動して長池の水位も下がってしまうのでは。（小澤）
- 長池などそれぞれの水位がわかっていないのが問題である。水位計を設置すれば、水位変化を把握することはできる。それによって、どれくらい敷高を下げるができるか。例えば、ある程度敷高を下げておいて、状況に合わせて、角落としのようなもので水位調整できるとよいのではないか。（鷺見）
 - ▶ まずは鷺見先生のところで、長池の水位を調べて頂けるのであれば、基礎的なデータとして欲しいと思う。（内田）
- サイフォンのように地盤の中を浸透して、承水溝と長池の水位は連動していると思う。（阿部）
- 敷高を下げて段差は解消されても、水深の確保をどうするかという課題は残る。（光岡）
- 樋門は一体の構造物なので、底板だけを削るのは簡単にはできないと思う。（鈴木）
- 長池は、公園から流出する砂利と桜の落ち葉の堆積で川底がすぐに浅くなってしまふ。一度、浚渫をやってもらったが、1年も経つとすぐ埋まってくる。（阿部）



・過去の検討で水源の確保の問題があったが、承水溝から供給することも考えられるのでは。(光岡)

・水源が不足しているため、水質は悪化しているという問題もある。(阿部)

・池に流入する水量が常時確保されていれば、魚道を造るのも選択肢の1つになるかもしれないが、現状では水量はかなり少ない。(鈴木)

・排水機場の検討が遅れ気味なので、当初予定していた年末には報告できそうにないが、年度末には構想をお伝えできると思う。承水溝の浚渫は、その事業ではできないので、別途考える必要がある。(穴井)

・詳細の検討は年度末として、それまでの間に樋門の所有者や管理者について、もう一度、皆さん調べてほしい。(内田)

・承水溝、長池、宗貞川付近の3か所の水位がどの程度連動するか確認した方がよいので、その3点についてデータをとれるようにしたい。(鷺見)

・運転基準水位が18.4となっている。長池に逆流することもありうると思うが、ゲートを締める可能性はあるか。(小澤)

➢ ゲートの位置づけを改めて考える必要があるかもしれない。(鷺見)

・排水機場の改修と合わせて浚渫が難しいとしたら、生物の多様性を確保していくという方向性も考える必要がある。(事務局)

・事業で樋門をさわるとすれば、設計が固まってしまう前に、改めて意見交換していただけるとよい。(光岡)

・承水溝は掘っても、すぐ埋まってしまうかもしれないが、ポンプ場～宗貞川樋門間に、公園の土砂が溜まっており、浚渫が必要である。排水機場の手前に魚が集まっている状況で、水路入口までに部分的にでも深い場所があるとよい。(阿部)

➢ 費用の制限がある中で浚渫する場合、承水溝全体に渡って部分的に深い場所を作る方法とできればよい。(内田)

・せせらぎと承水溝を一体化することは考えられるか。承水溝周辺の所有者と管理者を調べておいてほしい。(内田)

・どんな材料が堆積しているのかもわかっていないので、調べられるとよい。(鷺見)

・将来的にどういう姿を目指すのかについては、考えておかなければいけない。これまでの話で、長池の水位を下げてでも、長池～承水溝の段差を無くした方がいいというのが皆さんの意向のように感じた。(内田)

➢ 長池の川底にも手を入れられるかどうか、また、公園の土砂流入についても考えておく必要がある。(鷺見)

・豊田市の公園課の方も一度来て、意見交換できると良い。(内田)

・長池の底が、固いところまで何cm程度あるか確認できるとよい。至急調査の段取りをしたい。(鷺見)

・流量が確保できるようであれば、魚道設置ということも考えられる。(内田)

・長池がどのくらいの頻度で水があふれるような状態になるか、わかるとよい。(小澤)

・平常の水位で、開口部の水深はどのくらい必要か。仮にでも皆で共有しておきたい。(鷺見)

➢ 魚の移動に関しては、一般的に体高の2倍確保が必要である。(事務局)

➢ 皆さんの意見から、参考として水深20cmを目指す方向としたい。(鷺見)



2. 活動団体アンケートについて



活動団体アンケートについて、事務局から説明を伺い、意見交換を行いました。

【意見交換】

・提案の活動団体以外に、もう少し下流側に活動団体はないか。(光岡)

・豊田市内に活動団体は多く、もう少し対象を広げた方がよいのではないかと。(内田)

➢ 市で把握しているものについては、事務局と調整したい。(鈴木)

・自治体からの助成金、制度などの実態を聞ける工夫をしてはどうか。(小澤)

➢ 活動をする上で、助けになっているもの・困っているものを教えてくださいという聞き方をしてはどうか。(鷺見)

➢ 今回のアンケートはなるべく簡単な質問で構成しており、いきなり細かい話をするとう構成されてしまうと考えている。(事務局)

・岡崎市からも、事務局へ活動団体の情報提供を行いたい。(竹田)

今後の川部会 WG の予定



■第22回(本川モデル)

日時：平成26年10月31日(金) 18:00~20:00

内容：久澄橋下流の瀬について

■第23回(地先モデル)

日時：平成26年11月14日(金) 13:00~18:00

内容：活動団体ヒアリング

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、建設専門官 真柄
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト(yahagigawa@ijinet.or.jp)までお送りください。

